

ずれと摩擦について

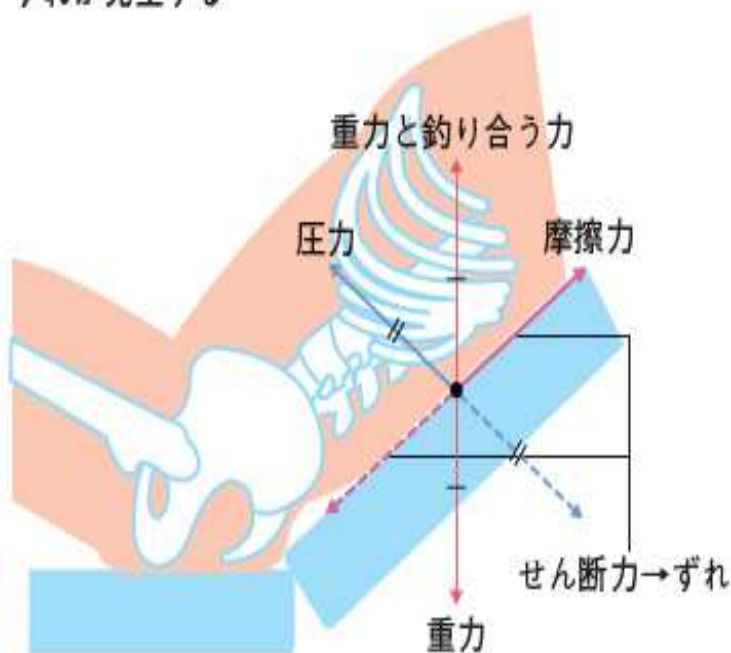
ふくの若葉病院 褥瘡対策委員会
令和4年10月
褥瘡だより第41号

最近ずれや摩擦が原因の皮膚障害をよく見かけます。
ステージⅠ～Ⅱの褥瘡です。今回ずれや摩擦が生じる
原因や対応方法など掲載します。

原因

物が動くとき何かに接する面には、必ず摩擦やずれが起こります。体位変換時などは常にベッドや布団、クッションなどと接する面に摩擦やずれが生じます。人間の体は平坦ではなく凹凸があり、突出している面の摩擦やずれが生じます

ずれが発生する



- ①ベッド挙上により、上半身に徐々に角度がつく
- ②上半身に加わる重力と釣り合う力から、圧力（ベッドに垂直な方向）と摩擦力（ベッドに平行な方向）が生じる
- ③ベッド挙上角度が上がるほど、摩擦力によるずれが大きくなる
- ④頭部を下げる際にも、逆の現象によりずれが起こる

対策

ベッドギャッチアップ時

原則臀部仙骨部のずれがないように膝の部分から挙上
背中を30度以上にしない。挙上の後背抜きや体を揺すって
皮膚のひずみを取り除く

車椅子の場合

仙骨すわり

車イス乗車時に良く
見かけます。



原因：

車椅子座面のたわみ
車椅子のサイズが合わ
ない
長時間の坐位など

仙骨座り

senkotsu suwari



(C) Hasegawa Shiro, 2012

対策

- ・その人に合った車椅子の選択
リハビリスタッフに相談し、検討する
- ・車椅子に乗車した時のポジショニングの調整
(クッションを入れる、隙間の調整など)
- ・坐位時間の短縮